

## 【令和5年度 授業改善推進プラン(各教科)】

### 板橋区立高島第二中学校

#### 【国語】

■生徒の状況	・国語の学習の意味を理解している生徒が多いが、苦手意識を感じている生徒も多い。 ・特に自分の意見や考えを書くことに対して抵抗感をもつ生徒が多い。 ・漢字や言葉の意味などについての知識や理解は比較的にできる生徒が多い。
■指導についての課題	・論説文や文法などの単元に苦手意識を強く感じ、主体的に取り組めない生徒がいる。 ・間違っただけを書くことに抵抗があり、記述問題などで無回答の生徒が多くいる ・漢字の小テストや語句の調べ学習を行う時間をさらに増やす。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・ICTの活用や授業の導入を工夫し、国語の授業に対する苦手意識を取り除く。 ・書くことの苦手意識を取り除くために、書き方についての指導を重点的に行う。 ・隔週を目安に漢字等の小テストを行う。

## 【令和5年度 授業改善推進プラン(各教科)】

### 板橋区立高島第二中学校

#### 【社会】

■生徒の状況	○授業アンケートより約80%の生徒が社会の授業をおおむね楽しいものと肯定的にとらえている。 ○地名、人名、語句などを覚えることは多くの生徒はできているが、それぞれがどのように関連しているのを理解したり、説明したりすることを苦手とする生徒が多い。
■指導についての課題	○授業アンケートの結果から発展的な内容に対して、自ら進んで考えることができると回答した生徒は約11%であるのに対して、発展的な内容に対してクラスメイトと考えを伝え合いながら考えることができると回答した生徒は約31%であった。 ○生徒の興味・関心を高めているが、事象間の関連性を考察すること力、具体的な社会的事象が何を示唆するのかを読み取る力をつけさせることに課題があった。
■授業革新推進に向けた具体的な方策	○小單元ごとなど短い期間で小テストを行うなどして基礎・基本の定着を図り、生徒のモチベーションを高める。 ○ある事象間の関連性を意識して学習する際にスムーズに進められる状態にしておく。ICT機器を活用して、自分自身で考えなければならない場面も設けていく。

**【令和5年度 授業改善推進プラン(各教科)】**

**板橋区立高島第二中学校**

**【数学】**

<p><b>■生徒の状況</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業は習熟度別で行っているが、基礎クラス、標準クラスの生徒は数学に対する苦手意識があり、主体的に授業を受けられない生徒が多い。発展クラスの生徒は意欲的に授業に取り組んでいる。</li> <li>・正しく計算できない生徒が多い。分数や少数の足し算や掛け算、正負の数の足し算、引き算など、基本的な計算方法が理解できていない生徒や、ミスが多い生徒がいる。</li> <li>・文章問題に苦手意識があり、意味を理解することが難しい。また、記述問題は無回答の生徒が多い。</li> <li>・数学用語の理解が不十分な生徒が多い。面積を求める公式など、算数で勉強した知識が身についていない生徒もいる。</li> <li>・計算過程など、自分の考えを説明したり、ノートに書いたりすることが苦手な生徒が多い。</li> <li>・応用・発展問題になると、どのように考えればよいか、思考することが難しい。</li> </ul>
<p><b>■指導についての課題</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の振り返りをする時間の確保。</li> <li>・計算力を身につけさせるための繰り返し問題を解く時間の確保。</li> <li>・自分の考えを説明する時間、他の人の考えを聞いて、自分の考えを再構築するための時間の確保。</li> <li>・主体的な学びのための、興味・関心がもてる授業研究の推進。</li> </ul>
<p><b>■授業革新推進に向けての具体的な方策</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学的活動を多く取り入れた授業展開を心がけ、主体的に学ぶ学習態度を体得させる。</li> <li>・スモールステップによる小テストを繰り返し行うことで、基本的な計算力を身につけていく。</li> <li>・習熟度別少人数授業を行うことにより、発展クラスでは基礎的な学習の他に、応用・発展問題に取り組む、基礎・標準クラスでは基礎・基本の徹底に努める。</li> <li>・「聞く」「考える」「発表する」という一連の流れを授業展開の基盤として、自分の考えを口頭、文書、式で正しく示し、伝えられる「表現力」を身に付けさせる。</li> </ul>

## 【令和5年度 授業改善推進プラン(各教科)】

### 板橋区立高島第二中学校

#### 【理科】

■生徒の状況	・おおむね真面目に授業に参加している。特に実験や観察への取り組みは積極的である。 ・間違えたくないという意識や文章表現の苦手さなどから、自分の考えを書いたり、発表することに消極的な生徒が多い。 ・学年が進むにつれて身の回りの事象と関連付けて考えることができる生徒が増えている。
■指導についての課題	・読解力、表現力に課題があるため、やるべきことが伝わらない場合もある。 ・論理的思考力、科学的思考力に課題があるため、実験や観察の結果から考察を書くことが苦手である。
■授業革新推進に向けた具体的な方策	・演示したり動画を活用したりして実際の現象や操作手順を示し、理解を促す。 ・考察などで文章を書くときに、書き方の例を示したりグループ学習をすることで発表や記述を行いやすくする。 ・グループの言語活動を促すことで、理解や考察を深めたり、文章表現や発表の積極性や技術を高める。

## 【令和5年度 授業改善推進プラン(各教科)】

## 板橋区立高島第二中学校

## 【音楽】

<p>■生徒の状況</p>	<p>・5月からマスクの着用が義務ではなくなったが、思いっきり声を出すことをためらう生徒も少なからずいて、歌唱や合唱における表現の技能があまり向上できていない。</p> <p>・表現や鑑賞を問わず、学年が進むにつれて意欲的に授業に取り組む生徒が多くなると同時に、他の生徒の様子を見てから取り組もうとする生徒も多くなり、二極化する傾向にある。</p> <p>・鑑賞の授業においてタブレットを使用し、興味のある場面を繰り返し聴いたり、気付きや感想を友達と共有したりしたことで、学習内容の理解を深めることができた。</p>
<p>■指導についての課題</p>	<p>・配信などを活用することと生の演奏を鑑賞することを併用し、普段聴く機会の少ないさまざまな音楽に触れ、多様な表現の仕方を学ばせること。</p> <p>・一人一台端末を活用し、自分や友達の演奏について思いを伝える手段にしたり、話し合いを活動を充実させたりするためのスキルを会得すること。</p> <p>・鑑賞や表現活動での話し合いを深めるために、音楽に関わる語句や要素、音楽を生み出す背景となった要因など、基礎となる音楽の知識を高めること。</p>
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<p>・タブレット端末を実技の習得や話し合いにおいて活用し、主体的に活動できる場面を設定する。</p> <p>・タブレット端末に資料をアップして授業の進め方を提示したり、ワークシートの構成を工夫したりして、学習内容をより深めることができるようにする。</p> <p>・表現活動を発表する際には、録画や配信による相互鑑賞を行い、アドバイスをもとに互いが高め合うことができるようにする。</p> <p>・生涯にわたる音楽活動の入口として、日本及び諸外国の様々な文化に触れさせる機会をつくとともに、授業では体験活動を重視する。</p>

## 【令和5年度 授業改善推進プラン(各教科)】

### 板橋区立高島第二中学校

#### 【美術】

■生徒の状況	・作品制作や、鑑賞におおむね意欲的に取り組んでいる。 ・見通しをもって計画的に制作できていない生徒もいる。 ・発想が画一的で深く考えた豊かな発想をしていない生徒が多い。 ・全体指示の内容を、個別に質問に来ることが多い。
■指導についての課題	・毎時間の目標が伝わっていないか、伝わっていても到達できない、到達しようとしていない。 ・発想を深める資料がない。じっくり考える時間が足りない。 ・全体指示の方法と内容に工夫が必要。
■授業革新推進に向けた具体的な方策	・毎時間の目標を達成できたか、生徒自身に振り返ってもらい、教員は授業カードや端末を用いた制作途中の撮影画像と振り返りで見取りをする。 ・発想の時間をしっかり取るとともに、量を増やし、豊かに深く発想できるようにする。また、思いついたアイデアを描けないときは端末で検索するなどして資料として扱う。 ・全体指示で書画カメラや端末を利用し、文章や言葉による説明以外の方法を用いて工夫して伝える。

## 【令和5年度 授業改善推進プラン(各教科)】

### 板橋区立高島第二中学校

#### 【保健体育】

■生徒の状況	・全体的に体を動かすことが好きな生徒が多い。 ・運動技能を向上するための教え合いや学び合いができる。 ・体力テストの結果から、特に持久力に課題がある。
■指導についての課題	・授業で行う種目に関連したトレーニングを取り入れることにより、生徒が積極的に運動できるようにする。 ・話し合いや考えを深めたり、発表できる時間を確保する。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・運動量が十分確保された持久力を高めるトレーニングを毎時間実施する。 ・生徒が授業の中で主体的に思考・判断する場面を設定する。 ・ICT機器を有効に活用し、視覚的に動きを把握したり、自分自身や他の生徒の動きを確認や比較したりできる利点を生かす学習形態や学習方法を工夫する。

## 【令和5年度 授業改善推進プラン(各教科)】

### 【技術・家庭】

■生徒の状況	【技術分野】課題に対して友人と協力して、より良い解決方法を探ることが出来る。 【家庭分野】課題に対して意欲的に取り組んでいる。
■指導についての課題	【技術分野】「聴く力」を伸ばすことにより、実習時の安全確保を徹底する。 【家庭分野】時間講師未配置学年で課題学習となっている。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	【技術分野】ICT機器を活用し、わかりやすい授業を行う。 【家庭分野】一人一台端末による課題配布・提出を実施。



## 【令和5年度 授業改善推進プラン(各教科)】

### 板橋区立高島第二中学校

#### 【外国語】

■生徒の状況	・真面目に前向きに授業に取り組む生徒がほとんどである。 ・基礎・基本の定着が難しい生徒が一定数いる。
■指導についての課題	・既習事項を用いて自己表現する機会を多くする。 ・英文を読み取る力を向上させるために、英単語の識別能力を指導する。 ・英文を書くために、基本例文を活用して、英語の作文力を向上させる。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・視聴覚教材・ICT機器などを利用し、生徒の興味・関心を高め、学力向上につなげていく。 ・帯活動などを用いて持続的・スパイラル的に4技能の基礎・基本の定着を図る。

## 【令和5年度 授業改善推進プラン(各教科)】

### 板橋区立高島第二中学校

#### 【総合的な学習の時間】

■生徒の状況	・これまでに習得してきた知識や技能を生かし、様々な課題について調べようとする姿勢がある。
■指導についての課題	・主体的に発言させたり、調べさせたりすることに課題が残る。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・生徒自身が主体的に取り組みやすい課題を設定する。ICTを活用し、調べ学習、協働学習(知識の共有、作業の共同等)を実施し、言語活動の充実を図る。 ・生徒自らが調査・訪問・体験・発表を行うことで、生徒自身が考えられる授業を展開する。また主体的に活動を行うことにより、生徒自身がより理解を深めることができるような授業をめざす。

## 【令和5年度 授業改善推進プラン(各教科)】

### 板橋区立高島第二中学校

#### ○ その他(言語活動の充実等)

- ・国語科を中心に言語能力の育成を図り、全ての教科において話し合い活動や発表をする活動を積極的に取り入れ、言語活動を充実させる。
- ・朝読書への取組で読書に親しむ態度を育てるとともに、図書室の整備充実を図り、読書活動を推進する。
- ・生活委員会のあいさつ運動などを通して、日常の生活の中できちんとしたあいさつや言葉遣いができるようにする。
- ・各教科や総合的な学習の時間などの調べ学習と発表活動などで、表現力・発表力の育成を図る。